

第3章 分かち書き

その1 自立語と付属語

1 基本的な分かち書き

1. p53 2. 付属語 【処理】

アルファベットで書かれた外国語に「な」「だ」などが続く場合は、助詞・助動詞と同様区切って書くとあります。これは形容動詞の場合のみですか。「らしい」には形容詞の一部（接尾語）の「らしい」もありますが、「らしい」は助動詞と接尾語で読み分けて表記しますか？

例：彼はM大のOBらしい。

彼は母校のOBらしい振る舞いをする。

【A】

この【処理】は、アルファベットの後ろに「な」「だ」等が続いて、形容動詞と考えられる場合に限定した処理です。外字符や外国語引用符を用いた語の後ろに助動詞の「らしい」が続く場合は「らしい」の前を一マスあけますが、「らしい」が接尾語（形容詞の一部）と考えられる場合は、「てびき」p45の2.「一続きに書き表すべき1語中のアルファベットと仮名の間は、第1つなぎ符をはさんで続けて書く」のルールに従うことになります。ですから

外大M＝ダイノ■外大大OB■ラシイ

外大大OB＝ラシイ■フルマイヲ■スル
となります。

2 注意すべき分かち書き

1. p53 1. 形式名詞 【備考】

「こと」について質問します。

「そのはやいこと」「気分のいいこと」

この語尾の「こと」は終助詞でしょうか。

【A】

終助詞の「こと」は、女性語として、活用語の終止形・連体形に付いて、やわらかに感動を表したり、疑問・質問したりするときに使います。

多くは文末にあり、「ことよ」「ことね」の形で用いられることもあります。

まあきれいな花だこと

それでいいこと

きれいだこと

見てもいいこと？

まあ立派なことね

ご質問の「そのはやいこと」「気分のいいこと」は、上の条件にはあっていないと思います。

形式名詞は「てびき」p54「コラム12」にあるように、前に連体修飾語を伴います。

前後の文脈は分かりませんが、「そのはやいこと」「気分のいいこと」も

「その（はやい→こと）」「気分のいい → こと」と連体修飾語を伴っていますので、形式名詞となります。

形式名詞の中で、「形容詞連体形などを受け副詞的に使ってそれが表す状態・状況・物事が述語の指す動作などのしかたに関係する意を表す」用い方だと思います。

長いこと話す

うまいことやった

外国では知らぬこと我が国では～

などと同じ用い方です。

そのはやいこと（驚くばかりだ）

気分のいいこと（このうえない）

のような文脈が考えられます。

判断が難しい場合もありますが、終助詞の場合は、文末に用いられる女性語であること、形式名詞の場合は、前に「こと」を修飾する連体修飾語があることで判断すればよいと思います。

なお、終助詞には語尾に付ける「～わ」「～よ」「～ね」などがありますので、これらの語に置き換えても文として不自然でないかどうかを考えると分かりやすい場合もあります。

まあきれいな花だこと ⇒ まあきれいな花だわ

見てもいいこと？ ⇒ みてもいいね？

まあ立派なこと ⇒ まあ立派だわね

のように、「こと」が終助詞の場合は、他の終助詞に置き換えることができます。

「その早いこと」、「気分のいいこと」は、「こと」の部分に「よ」「ね」など他の終助詞を入れると、自然な文が成立しません。

判断に困った場合には、このようなことも試してみてください。

2. p57 4. 「ない」

点訳ナビゲーターに収載の、「なし」を含む言葉についてお尋ねします。

コンジョーナシ（あいつは根性無しだ）

フチナシ（縁無し眼鏡）

オカマイ■ナシ（一同お構い無し）

テキ■ナシ（敵無し）

「縁無し」は辞書にありますが、「敵無し」はありません。その違いでしょうか。しかし、「お構い無し」は辞書にあります（大辞林）が、区切っています。逆に「根性無し」は辞書にはありませんが、続けています。どのように考えればよいでしょうか。

【A】

4. 【備考】の「参考」にありますように、7～8万語程度所収の小型の辞典に掲載されているかどうかを目安とします。「大辞林」や「広辞苑」のように中型以上の辞典は、掲載語が多いため、連語や慣用的な句も多く載っているので、切れ続きの判断には適さないと言えます。

ただ、「根性無し」は小型の辞典には載っていません。判断の難しいところですが、「あいつは根性無しだ」のように、「～無しな人（奴）」の意味合いを含み、非難する・ののしる意味合いが強い時には一続きに書いた方が自然だと考えられます。「甲斐性無し」も「（あなたは）甲斐性無し！」のように非難するときには一続きに書いた方がよいと思います。

これも、「根性（は）無し」「甲斐性（は）無し」の時には、区切って書きます。

「あいつに逆らうだけの根性■無し」「家族を養うだけの甲斐性■無し」

その2 複合語

1 短い複合語・接頭語・接尾語など

1. p63 1. 短い複合語・略語

江戸時代の時刻に関する質問です。「てびき」p38 2. (1)の用例に「明け六つ」がありますが、「暮れ六つ」「夕七つ」など他の言い方の分かち書きはどうなりますか。

【A】

「明け六つ」「暮れ六つ」は辞書の見出し語にもありますが、これに比べ、他の言い方は、一語として熟しているとはいいいにくいので、点訳ナビゲーターでは「アケムツ」「クレムツ」だけを一続きにしています。「夕七つ」「宵五つ」「夜九つ」「暁七つ」「朝五つ」「昼四つ」など、他の言い方は区切って書きます。

2. p63 1. 短い複合語・略語 【備考】

点訳ナビゲーターにある「火の玉となって戦う（ヒノ■タマト■ナッテ■タタカウ）」、「墓地で火の玉を見た（ボチデ■ヒノ■タマヲ■ミタ）」の「火の玉」は続け

て書くのではないのでしょうか。辞書の見出し語にもなっています。

【A】

「内部に助詞などを含んでいても、1語として熟している短い複合語は一続きに書く」に該当するかどうかポイントです。分かち書きの本則にあたるか、p63 1. の【備考】にあたるかの区別は、p63の「参考」を参照していただきたいのですが、その上で、できるだけ本則のルールに従う方をお勧めしています。

「虎の巻」や「息の根」などと異なり、この場合の「火の玉」は「火」の「玉」のことを指していますので、区切って書くと判断しました。しかし、「火の玉投手」のように全体で複合語になっている場合は続けて書きます。

なお、辞書に見出し語としてあっても、必ずしも一続きに書くとはかぎりません。「木（き）の葉」「世の常」なども、辞書によっては見出し語としてありますが、区切って書いています。

3. p63 1. 短い複合語・略語 【備考】

p223「古文の分かち書き」に「老ノ坂」をひと続きに書く例が挙げられています。現代文の中でも同様に考えてよいのでしょうか。辞書には、「老年になるのを上り坂にたとえた語」などとあります。

【A】

「老いの坂をのぼる」というときの「老いの坂」は「オイノ■サカ」と書きます。p223の例は固有名詞(京都府にある峠)ですので続けて書きます。

4. p63 1. 短い複合語・略語 【備考】

「クコの実紅茶」は「麻の■葉■模様」と同じく「クコノ■ミ■コーチャ」としてよいのでしょうか。実や木は1拍でもマスあけすると考えてよろしいですか。

【A】

「クコの実紅茶」は「クコノ■ミ■コーチャ」と書きます。もともと、「クコノ■ミ」とマスあけする語のうしろに「コーチャ」という3拍の区切る成分が付いていますので、元のマスあけは変わりません。後ろに「漬け」「茶」「紋」などの2拍以下の語が付いて、しかも、区切ると元の意味がわかりにくくなる場合にだけ続けて書きます。「シソノ■ミ」「シソノミヅケ」、「カキノ■ハ」「カキノハチャ」、「アサノ■ハ」「アサノハモン」となります。

5. p64 2. 接頭語・接尾語など

「足らず」は接尾語と理解していますが、「言葉■足らず」を区切って書くのは、全体がひとまとまりではなく、「言葉」の後ろに「足る（動詞）」＋「ず（助動詞）」が付いたものと考えからでしょうか。

【A】

「足らず」は基本的には数詞に付く接尾語で、「十日足らず」「10人足らず」などと使われ、そこから派生して「舌足らず」「月足らず」などの使い方があります。

「言葉足らず」は、おっしゃるように「言葉」の後ろに「足る（動詞）」＋「ず（助動詞）」が付いたと判断しました。「意■余って■言葉■足らず」「勘定■合っ
て■銭■足らず」のように区切って書いてよいと思います。

6. p64 2. 接頭語・接尾語など

「洞窟の中が蜘蛛の巣でいっぱい」という文があります。

点訳ナビゲーターで「クモノ■ス」「クモノスジョー」「クモノ■ス■ジョータイ」
となっていますが、「クモノ■ス」に接尾語「だらけ」が付いたとき、「クモノ■ス
ダラケ」となるのか、あるいは「クモノスダラケ」と変化するのでしょうか？

【A】

蜘蛛の巣は、「クモノ■ス」と書くのが、分かち書きの原則にそった書き方ですの
で、「クモノ■ス■ジョータイ」「クモノ■スノヨーナ」となります。「蜘蛛の巣だ
らけ」も「クモノ■スダラケ」でよいと思います。

「蜘蛛の巣状」「蜂の巣状」「網の目状」「碁盤の目状」などは、慣用的に用いら
れなじみ深い語ですので、一続きに書いた方が分かりやすいと判断して続けていま
す。「～状」でも「雨の■しづく状」「桜の■花状」となれば区切って書きます。

7. p64 2. 接頭語・接尾語など

「要介護」「要介護者」「要支援」「要支援者」「要援護」「要援護者」の分かち書
きについてお尋ねします。点訳ナビゲーターでは、「ヨーカイゴ」「ヨー■カイゴシ
ャ」「ヨーシエン」「ヨー■シエンシャ」「ヨー■エンゴ」「ヨー■エンゴシャ」とな
っています。しかし、要介護者は「介護者が必要」という意味ではなく「要介護の
状態にある人」という意味ですから、ヨーカイゴシャと続けて書いてよいのではな
いでしょうか。要支援者も同様に続けて書いてよいと思います。

【A】

語頭に付く1字漢語の造語要素の中で「要」は基本的に自立性が高いと考えられ
ますが、「要介護」「要支援」は介護保険の開始により「要支援1」「要介護5」の
ように、介護度の尺度として用いられるので続けることにしました。しかし、それ
を、「要保護」「要援護」などにまで広げることは避けたいと考えています。

2点目の問題として、「要■援護」に「者」がついた場合のマスあけについてで
すが、考え方として、マスあけを含む複合語の語尾に接尾語、造語要素がついても、
元のマスあけは原則として変わりません。これは、複合名詞の切れ続きの原則「複
合名詞の内部に3拍以上の自立可能な意味のまとまりが二つ以上あればその境目で

区切って書き、2拍以下の意味のまとまりは続けて書くことを原則とする」によります。

「てびき」のこれに該当する用例として、「身体障害者手帳」や「事故報告書」「ビル管理人」などがあります。「者」「書」「人」などは、直前の「障害」「報告」「管理」だけにかかっているわけではなく、「身体■障害」＋「者」、「事故■報告」＋「書」、「ビル■管理」＋「人」なのですが、これによって、前のマスあけの部分が続けたり、または「者」「書」「人」の前を区切ったりすることはありません。接頭語や語頭に付く造語要素には、「てびき」p68【備考2】の例外規定がありますが、接尾語や語尾に付く造語要素にはこの例外規定がありません。そのため「悪い■子ぶる」「森■さんたち」のように不自然な感じがすることもあります。短い語で、あまりに不自然な場合や一語として感じられるような場合（「いい子ぶる」「蜘蛛の巣状」など）はひと続きに書いている場合もありますが、原則はこのようになります。

ですから、

要■冷蔵 → 要■冷蔵品 冷蔵品が要ではなく、要冷蔵の品

要■入院 → 要■入院児 入院児が要ではなく、要入院の児

要■援護 → 要■援護者、要■保護 → 要■保護者となります。

「要介護者」「要支援者」は異論もあるとは思いますが、上に書いたように、「要」は、「要望、要約、要人」などは別として、後ろが自立する語の場合は区切ることを原則とし、その上で、「要注意」「要介護」「要支援」は、使われ方から1語性が強いとして続けていますので、点訳ナビゲーターでは、「要■介護者」「要■支援者」となった場合は、元々の「要」の自立性を考えて区切って書くことにしています。

8. p64 2. 接頭語・接尾語など 【備考】

接頭語を含む複合名詞のマス開けについて質問いたします。

超高速鉄道、超自然現象、超党派決議、超弩級作品は超高速、超自然、超党派、超弩級、がひと続きであるので超は後ろと続くとして理解しています。超■国家■主義を超の後ろでマス開けするのは超国家が超■国家とマスあけするからでしょうか。

【A】

語頭にある造語要素はそれに続く自立語との間を続けて書くことが原則ですが、「要・各・前」などのように、後ろの語と区切って書くことが多い語もあります。「超」もその中に入ります。一語としてのまとまりが強い場合は続けて書きますが、発音上の切れ目などを考慮して区切って書く語も多くあります。

「超高速」「超自然」「超党派」「超弩級」などは、一語としてのまとまりが強く、それだけでも用いますし、後ろにいろいろな言葉が付くことが可能ですが、「超国家」や「超現実」などは、発音上の切れ目もあり、一語としての結びつきが弱い語です。

超■国家■主義、超■国家■機構、超■現実■主義、超■現実的などのように書くのがよいと思います。

2 複合名詞

1. p67 1. 3拍以上の意味のまとまり

自立性とか、区切る成分、前の語の意味を強調するとかが判断出来ません。理解するにはなにかよい方法がありますでしょうか。

旅雑誌、旅気分、奥深く、奥深い、右半分、右半身など。名詞で2拍+3拍なのに、マス開けだったり続けたりなのが分かりません

「歩き易く」は、名詞+形容詞で1語でよいですか。調べると「歩き易さ」は、名詞+名詞なのに一続きなのですがそれはどうしてでしょうか。

【A】

「旅雑誌」「旅気分」など、複合名詞内部の切れ続きの基本は、「3拍以上の意味のまとまりが二つ以上ある」ことです。

この「3拍以上の意味のまとまり」を「区切る成分」といい、相手も「区切る成分」であればマスあけします。「桜並木」は「さくら」も「なみき」も区切る成分ですから、「サクラ■ナミキ」となります。それに対して「松並木」は、「まつ」が2拍で「3拍以上の意味のまとまり」ではないので、「なみき」が区切る成分でも、マスあけすることはできません。「マツナミキ」と一続きになります。

「てびき4版」p68の「参考」にありますので確認してください。

ただ、「区切る成分」は「3拍以上の意味のまとまり」だけではなく「2字2拍の漢語」や「ある条件下での2拍の外来語」なども含まれますのでそれらも確認していただくことが必要になります。

「奥深い」「歩きやすい」は「深い」「やすい」が形容詞ですので、複合形容詞となり、一続きに書きます。この「複合形容詞」の語尾が変化して名詞になった語は一続きに書きます。「奥深さ」「歩きやすさ」などです。

「てびき」p67の【備考1】になります。「複合形容詞」については、点訳フォーラムの「用語解説」の「複合語」などで確認してください。

「旅雑誌」「旅気分」「右半身」などは、上の基本にしたがって「2拍+3拍」で一続きに書いてよいと思います。

「右半分」については、「てびき」p69【備考】で説明しています。この【備考】にはいろいろな要素が含まれていて迷いやすいところですが、1語としての結びつきが強いかどうか、発音上の切れ目がないか、「2拍」の相手の拍数が多いかなどを考えて判断します。「半分・自身・自体・全体・平均」などは、相手の語と複合語を作

らずに、ほとんどの場合区切って書きます。点訳フォーラムの語例集で「半分」「自身」「自体」などを入れて検索をし、相手が2拍でも区切って書いてあるかなども参考にしながら判断してください。

2. p69 2. 2拍以下の意味のまとめ 【備考】

「体重■増」「資産■減」の例がありますが、「人口増」「負担増」のように、「増」「減」が名詞の後ろに付くときは、基本的に独立していると考えてよいのでしょうか。

【A】

「増」「減」が名詞の後ろに付くときは、一般に区切って書きます。しかし、それも含めて1語としての意味合いが強い場合は、発音なども考慮して、例外的に一続きに書きます。一続きに書くのは極めて限定的で、社会学関係の用語として定着している「自然増」「自然減」「社会増」「社会減」などに絞られます。「人口■増」「体重■増」などと異なり、自然が増える、減る、社会が増える、減るわけではなく、自然に増える、社会的な減少といった意味合いですので、一続きに書きます。

「負担増」は、「負担増が強いられる」のように、文脈上複合語的に使うことが多い言葉ですが、上記の判断基準から、区切って書いた方がよいと思われます。

3. p69 2. 2拍以下の意味のまとめ 【備考】

相撲の「西前頭」はマスあけが必要でしょうか？

右・西・北、2拍の方向を表わす言葉の切れ続きに迷います。区切る場合は発音上の切れ目以外の判断基準がありますか？

【A】

「右」「左」は、迷うことも多いのですが、拍数から判断して、「ミギ」は後ろの語と続け、「ヒダリ」は区切って書くのが原則になります。ただし医学用語は異なった判断をすることも多いので、点訳ナビゲーターを参考にしてください。

方角を表す「東・西・南・北」も原則に従い、2拍は続け、3拍は区切って書きます。

西前頭は「ニシマエガシラ」と続け、東前頭は「ヒガシ■マエガシラ」となります。

さらに、「右前身頃」「右後ろ足」など、「右・左」と「前・後ろ」などが重なると、拍数の判断の他に、「右前」や「右後ろ」でないことを明らかにするために、「ミギ■マエミゴロ」「ミギ■ウシロアシ」と区切って書くことになります。けれども「前頭」の前は方向を表すわけではないので、これには該当しません。

4. p69 2. 2拍以下の意味のまとめ 【備考】

点訳ナビゲーターで2拍の和語でも区切って書いてある、「和風だし」「冷え対策」

などは、区切る理由をどのように考えたらよいでしょうか。

【A】

p69【備考】に該当すると判断しました。この部分は、「ハンドブック 3 章編」p31で、少し詳しく説明をしていますが、複合名詞を作る相手との関係で切れ続きを考えることになります。

「だし」は2拍の和語ですが、「和風」は「和」に「風」という造語要素が付いて、後ろの語の連体修飾語のような働きをしていますので、「中華風」「西洋風」などと同様に、区切って書きます。「中華風■出汁」「西洋風■出汁」「和風■出汁」となります。同じような語としては、「事業系■ごみ」「広告用■びら」などがあります。「今風■ネタ」も切って書きます。

「冷え対策」も「冷え」は2拍の動詞転成名詞ですので、「冷え■対策」「揺れ■対策」「荒れ■対策」の方が分かりやすいと判断しました。これも「呆け■症状」などと同じだと思います。ただ、「汗対策」「風対策」「雨対策」「冬対策」など、2拍の和語名詞の場合は、続けた方がよいと思います。

5. p69 2. 2拍以下の意味のまとめ 【備考】

「核」について教えて下さい。点訳ナビゲーターには「核武装（カクブソー）」「核武装論（カクブソーロン）」「核抑止（カク■ヨクシ）」「核抑止力（カク■ヨクシリョク）」がありますが、判断基準は発音上の切れ目でしょうか。「核エネルギー」「核ミサイル」が続いていますが、「核アレルギー（カク■アレルギー）」を区切るのはどうしてですか。

【A】

「核武装」という語は、小型の国語辞典にも載っているように一語としての結びつきの強い複合名詞と判断できますし、「核武装論」は、複合名詞「核武装」に2拍の「論」が付いたと考えて、「カクブソーロン」でいいと思います。「核抑止」は、一語としての結びつきがそれほど強くない語なので区切って書いた方がよいと判断しました。「核の抑止」のように「の」を入れて使用した方が分かりやすい語です。

「核エネルギー」「核ミサイル」は、原則通りに続けて書きますが、「核アレルギー」は、「猫アレルギー（ネコ■アレルギー）」「鯖アレルギー（サバ■アレルギー）」など病気のアレルギーも区切るのと同様に、比喩的な拒絶反応を示す場合も区切って書いた方がよいと判断しました。

6. p70 3. 2字以上の漢語 (2)

点訳ナビゲーターでは、「事務■所内」「格納■庫内」などは切っていますが、「飛行機内」「被災地内」「保健所内」は続いています。違いは何でしょうか。また、「飼育舎内」の場合はどうなりますか。

【A】

点訳ナビゲーターでは、「事務＋所＋内」の場合、後ろの「所内」という語に自立性があると判断して区切って書くようにしています。「格納庫内」も同じです。

ですが、後ろの2字が1語として自立しているとは思われない場合や、最初の3文字が「2字＋1字」とは分かちがたいような場合は、ひと続きに書いた方がよいという判断をしています。「てびき」p70 3. (2)を参照してください。

「被災地内」は、区切ると後ろが「地内」となります。これは単独では「ジナイ」の読みしかありませんし、別の意味になりますので、続けて書くと判断しました。

「保健所内」は「ホケンジョ」と連濁していますので、区切って書くことができないと判断しました。同様に「収容所内」も「シューヨー■ショナイ」ですが、「シューヨージョナイ」と書くこともできます。「舎内」は、「飼育舎内」「寄宿舎内」などと使われて、「2字＋1字＋1字」の語と考えられますので、「シイク■シャナイ」「キシク■シャナイ」と書いてよいと思います。

「飛行機」は、「自転車」「自動車」などと同じく分かちがたいと思いますので、「ヒコーキナイ」としました。ただ、「飛行機」については、判断に幅のあるところだと思います。

7. p70 3. 2字以上の漢語 (2)

表記法 (p45) では「幼稚園長」が一続きで記載されていますが、点訳ナビでは「幼稚■園児」と区切られています。この違いは何でしょうか。また、③の用例「自動車内」と点訳ナビの「格納■庫内」などの考え方はどこが違うのでしょうか。

【A】

「表記法2018年版」では、複合名詞の切れ続きに幅があります。また、漢語・和語などの語種についてもある程度言及しています。ですので、「てびき3版」までは、「表記法」の用例にも慎重に対処していましたが、このたびは、「表記法」のルールのうち幅のあるところは、「てびき」の立場で選択しています。

複合名詞の切れ続きの判断の基本（本則）は、「てびき」p67 1. 「複合名詞の内部に3拍以上の意味のまとまりが二つ以上あれば、その境目で区切って書く」ことです。ここの「点字用紙、経済学者、会計課長、結婚式場、管弦楽団、同窓会長」が、該当する用例になります。

これらの語は、4字の漢語からなる語で漢字2字の名詞の後ろに1字ずつの語が付いてできていますが、後ろの2字が自立した意味のまとまり（区切る成分）になりますので、区切って書きます。

それに対して、後ろの2字に意味のまとまりがない場合が、p70 3. (2) ①になります。

「2＋1＋1」の漢語からなる複合名詞の場合、以下のように考えます。

1. 後ろの「1 + 1」で、「自立した意味のまとまり（区切る成分）」になる場合
この場合は、「2 + (1 + 1)」→「2 + 2」となり、区切って書きます。

点字用紙 → 点字 + (用 + 紙) → 点字 + 用紙 → 点字■用紙

同窓会長 → 同窓 + (会 + 長) → 同窓 + 会長 → 同窓■会長

2. 後ろの「1 + 1」に意味のまとまりがない場合

「てびき」p70 3. (2) ①に当てはまり、この場合は一続きに書きます。

「作曲者名、女子大生、外国人客、消耗品費、自家用車、保護者会」の例になります。「者名、大生、人客、品費、用車、者会」は、「自立した意味のまとまり（区切る成分）」とは言えませんので、すべて一続きに書きます。

幼稚園児は、「幼稚 + 園 + 児」で後ろの「園児」に意味のまとまりがありますから、区切って書いてよいと考えます。「保育園児」「動物園長」「植物園長」などと同じ扱いになります。

「格納庫内」も「格納 + 庫 + 内」で後ろの「庫内」に意味のまとまりがありますので、区切って書きます。

「てびき」p70 ③にある「自転車道」「自動車内」などは、「自転車」「自動車」が語の成り立ちとして「自転 + 車」「自動 + 車」と分けられるかどうか疑問があります。「自転車」「自動車」としてできた語で、「自転」と「車」、「自動」と「車」を切り離すと不安定な形になりますので、このような場合は、例外として一続きに書くこととしました。このような言葉は少なく、ここを広げて考えることは「てびき」のルールから外れてしまうと考えた方がよいと思います。

8. p70 3. 2字以上の漢語 (2)

「師会」のつく言葉の切れ続きを教えてください。

鍼灸師会、別府師会（別府鍼灸マッサージ師会の略）、県師会、当師会

「師会」が辞書に掲載されていないので、自立性がないと思われるのですが、「師会」がつく言葉が沢山出てくると迷います。

【A】

「師会」は国語辞書には掲載されていませんが、「鍼・灸・按摩・マッサージ・指圧師会」の略称として、三療の業界では、単独でよく用いられています。「師会」だけで自立した3拍の語として扱ってよいと思います。切れ続きの判断としては、「議会」と同じように考えてよいと思います。

別府■師会、大分県■師会、県師会、当■師会

ただ、鍼灸師会、マッサージ師会などとなった場合は、略称ではありませんので、

鍼灸師会 シンキューシカイ

マッサージ師会 マッサージシカイ

大分県■シンキュー■アンマ■マッサージ■シアツシカイ（ハリ■キュー■アン

マ■マッサージ■シアツシカイ)
となります。

9. p70 3. 2字以上の漢語 (2)

中国の歴史書『資治通鑑』のマスあけについてお尋ねします。辞書では通鑑にも資治通鑑の略称と記載があります。通鑑には他にも、『本朝通鑑』という日本の歴史書もあるようです。

【A】

「資治通鑑」はひと続きに書いてよいと思います。全体として「君主の政治に資する編年体の鑑」という意味です。「資治」と「通鑑」のそれぞれに自立性があれば区切って書く事ができますが、「資治」だけ独立して使われることはないようです。また、「通鑑」だけで「資治通鑑」の略として使われますが、それ以外の用法はないようです。

「本朝通鑑」は「本朝」が「我が国」という意味で、「我が国の資治通鑑」と言う意味になりますので、「ホンチョー■ツガン」と区切って書いてよいと思います。

10. p71 4. 漢字1字ずつが対等な関係で並んでいる語

「てびき」p102に「政・官・財界」の例がありますが、原文に中点がなく続けて書いてあっても、1字ずつマスあけして書きますか。

【A】

「セイ■カン■ザイカイ」と区切って書きます。複合語の中で、漢字1字の略称が二つ並ぶ場合、多くは4拍になるので短い略語として続けて書きますが、三つ並ぶ場合は、区切り目の分かりやすさを考えて、区切って書くのが一般的です。

点訳ナビゲーターでも「政財界」「産学協同」は「セイザイカイ」「サンガク■キョードー」で、「産学官」は「サン■ガク■カン」となっています。国名の場合も、「日米」「日韓」「日露」「日英」などはひと続きで、「日中韓」「日朝韓」などは「ニチ■チュー■カン」「ニチ■チョー■カン」と区切って示してあります。

ただし、「農山漁村」のように一語としての結びつきが強いと考えられる語は、一続きに書かれている場合もあります。

11. p71 3. 2字以上の漢語 (3) [参考]

p71 [参考] に取り上げられた、近年できた4字漢語の例「地産■地消」は2字ずつ切り離して使うことがありません。辞書にも2字ずつの形では出ていませんが、区切ってよいのでしょうか？

【A】

「臥薪嘗胆」のような4字漢語も、2字ずつの形で使われることはないのですが、

「薪の上で臥し、肝を嘗める」の意味で、漢字2字ずつにまとめた意味を読み取ることができます。意味のまとまりごとに区切ってある方が読み取りやすいこともありますので、近年できた言葉も同じように考えて、まとまりごとに区切って書くこととしました。

これに対して「傍若無人」は、「傍らに人無きが若し」の読み下し文で「傍」と「若」は最初と最後に分かりますので、「傍若」・「無人」と分けることはできません。

12. p71 5. 外来語

「オールマイティー」の切れ続きについてお尋ねします。「mighty」が日本語として定着していないこと、語源の「almighty」（全能の）から考えると区切りにくいのではないかと思います。

【A】

「almighty」は、英語本来の意味では「全能の神」を表すようですが、日本では、英語本来の意味ではなく、「なんでもできる人」という意味で使われています。和製英語的に、「オール」は「すべて」、「マイティー」は「力がある」のように解釈されて使われているように思います。ですので、片仮名で「オールマイティー」と書かれていれば「オール■マイティー」と区切って書いてよいのではないのでしょうか。

13. p72 5. 外来語 (1) 【備考1】

「フリーランス」free lance ⇒フリー（自由）と lance（槍騎兵）に分けられますが、1語として扱うのはなぜですか。元の意味と現在使われている意味合が違うからですか。

だとすれば、「雇い兵」の意味で使うときは「フリー■ランス」と区切りますか。

【A】

「フリーランス」は、もとをたどれば、「フリー」＋「ランス」らしいのですが、そこから、新たな意味を生じた現在の使いかたでは、区切ることができないと判断しました。現代の用例としての自由契約者、自由論客、専属でない記者、俳優などは、「フリーランス」と続けて書きます。

厳密に中世の「雇い兵」を指す場合、「free（フリー） lance（槍騎兵）」と分けて書くという考えもあると思いますが、「ランス」がなじみのない、一般的でない語ですので、これも続けて書いた方がよいと思われます。

14. p72 5. 外来語 (1) 【備考2】

例に「オン■ザ■マーク」がありますが、「オンザロック」も同じように区切ってよいですか。

【A】

「オン+ザ+ロック」の成り立ちですが、このような場合は、1拍や2拍の語をいつも区切って書くわけではなく、区切って書くか、一続きに書くかを判断することになります。「オンザマーク」は文字通りの意味ですが、「オンザロック」は熟した複合語として使われ、「オン」「ザ」の英単語としての意味は薄れているようですので、一続きに書きます。

15. p 73 5. 外来語 (3)

「2拍以下の和語は、外来語が長くても一続きに書く」とありますが、2拍以下の漢語は一続きに書かないのでしょうか。

例. 新チャンピオン、猛スピード、昨シーズン、チェーン錠、金メダル、スカウト連、フィジカル面、ラガーマン像

【A】

これらの語はすべて一続きに書きます。2字2拍の漢語は自立した意味のまとまりになりますが、1字の漢語は、p64 2. p68 2. に「続けて書くことが原則」とありますので、ここであらためて取り上げることはしませんでした。

和語の場合は、1字や2字2拍でも、「胸、壁、海老、蕎麦、屋根」など、迷われる場合が多いので、ここに取り上げています。

16. p 74 5. 外来語 「コラム18」

点訳ナビゲーターに、「ノーヒット■ノーラン」と「ノー■ワーク■ノー■ペイ」があります。この違いをどう考えればよいのか悩んでいます。

例えば「ノーミュージック・ノーライフ」は複合語として拍数で考えれば「ノー■ミュージック・■ノーライフ」となるのかなと思いますが、これはこの切れ続きでよいのでしょうか？

また、点訳している本に「ノー家出・ノーライフ」というのがでてきたのですが、これなどはどう考えれば良いのでしょうか。

【A】

「ノーヒット、ノーラン、ノー残業デー、ノーゲーム」などは、後ろの語の表す状態が「無い」という意味の「no」ですので、複合名詞の切れ続きの原則に従って書きますが、「ノー ワーク ノー ペイ」は英語の表現をそのままカタカナにしたような使用法で、「働かなければ、支払わない」という意味ですので、単に日本語の複合名詞とは捉えにくいと考え、点訳ナビゲーターでは区切って書くことにしました。

「ノー■ミュージック・■ノーライフ」は、「音楽がなければ命を失うようなものだ」「音楽無くして人生無し」という意味でしょうか。そのような意味ならば、

中点は使わないで「ノー■ミュージック■ノー■ライフ」となるのではないかと思います。

「ノー家出・ノーライフ」は、寺山修二の『家出のすすめ』という本に対する感想文としてこの表現がネットに出ていました。この作品は、若者は家を出てこそ自分を作り上げることができるという考えで書かれたようですので、「家出なくして人生なし」の意と捉えて「ノー■家出■ノー■ライフ」と書いてよいと思います。

17. p74 5. 外来語 「コラム18」

最近よく使われている、「アイサポート」という言葉があります。眼科医さんが使われている言葉は、「アイサポート」、自治体等で使われている言葉は、「あいサポート」（愛情・出会い）とあります。意味が変わるとマスあけも異なるのでしょうか？

【A】

「アイ」が「愛」であれば1字漢語、「eye」の「アイ」であれば2拍の外来語になります。ですから「あいサポート（愛）」は「てびき」p68 2. のルール、内部の2拍以下の意味のまとまり（愛）は続けて書くことから、アイサポート、「アイサポート（eye）」はp71 5. (1)のルールから、アイ■サポートとなります。

18. p74 5. 外来語 「コラム18」

英語の「This way」や「How much」などの文が、仮名書きで「ディスウェイ」「ハウマッチ」と書かれている場合、日本語の文節と同じように「ディス■ウェイ」「ハウ■マッチ」と区切ると考えてよいでしょうか？

【A】

お考えの通りです。英文が仮名書きされている場合は、元の英語の1単語ずつ区切って書くのが原則になります。ただ、「チェックイン」「インコース」「オンザロック」など、日本語の中で日常使われるようになった語は、外来語の切れ続きで判断しますので、そのどちらに属するか判断が必要になります。

19. p74 5. 外来語 「コラム18」

略された2拍の外来語についてお尋ねします。

プラ(プラスチック)…プラ素材、プラ鍼管、プラユニット、資源プラ、プラゴミ、プラマーク

ナビ(ナビゲーション)…ナビアプリ、ナビシステム、絵本ナビ、データナビ、

デリ(デリカテッセン・デリバリー)…デリ専門店、デリコーナー、こんがりデリ、和デリ、こめデリ

前後の語で切れ続きが変わりますが、上記の3語は自立していると判断してもよ

いのでしょうか。その基準は「辞書に見出し語として掲載されていること」でしょうか。

【A】

省略された外来語についても、その語が日本語の中で一語として使われているかどうか判断基準となります。「辞書に見出し語として掲載されているかどうか」で判断するのがあくまでも基本ですが、外来語が省略されるスピードは早く、省略形が相当に広まっても、多くの辞書に載っているとは言えないことがありますので、表記には幅が出てくるのもやむを得ないと思います。「てびき」p73(2)の用例、「パラ■陸上」の「パラ」も、省略形で使われることが多くなった例といえます。

また、省略形の方が一般的な語もあります。「プラ」「ナビ」「デリ」は、省略形がよく用いられる、なじみのある語ですので、自立した成分として扱っていいと思います。

プラ■素材、プラ■鍼管、プラ■ユニット、資源■プラ、プラゴミ、プラマーク
ナビアプリ、ナビ■システム、絵本■ナビ、データナビ

デリ■専門店、デリ■コーナー、こんがり■デリ、和デリ、こめデリ

「てびき」p63 1. 用例の「デパ地下」は、「デパ」が一語としてよく使われる語ではありませんので、続けて書いています。

p74 「コラム18」も参照してください。

20. p76 7. 数字を含む複合語 (2)

用例に「第195■国会」「第1■分科会」がありますが、数量や順序の意味があれば(1)に該当し、国会や分科会の名称であれば(2)に該当するのでしょうか。

【A】

「第195国会」や「第1分科会」は複合語ですので、3拍以上の自立可能な意味の成分が二つ以上あればその境目で区切って書きます。ですから、「ダイ195■コッカイ」「ダイ数1■ブンカカイ」となります。「第1人者」「第一声」などは、「人者」「声」が、自立可能な意味の成分ではないので、一続きになります。

3 複合動詞・複合形容詞など

1. p77 2. 「する」

江戸川乱歩全集に「印した」という言葉が出てきます。「印をする」と言わないので一続きでよいと思ったのですが、当時は「印をする」と言っていたのではないかと、そうすると「イン■シタ」とマスあけをするのではないかととも思われ、迷っています。

また、点訳ナビゲーターで「倍する」が一続きになっています。この言葉も迷うことが多いので、説明してください。

【A】

「印する」も「倍する」も共に1字漢語に「する」が付いたものですから、一続きに書いてよいと思います。「てびき」では、1字漢語と「する」の間に、「を」をはさむことができれば区切って書くとしています。「倍をする」とは言いませんので、その点からも「倍する」はひと続きとなります。「印する」は、現在では「跡を残す」「印（しるし）を残す」「印刷する」「印（しるし）が付く」などの意味で用いられていて、「印をする」とは言いませんので、ひと続きでいいと思います。

ただ、「印する」も「倍する」も、連体修飾語が付く場合は区切って書きます。

この本は、彼が買った本の■倍■する。

ここに代表者の■印■してください。

なお、「てびきQ&A」Q55も参照してください。

2. p78 2. 「する」【備考3】

和語の自立性が弱い「与する・閲する・嘉する」などは続けて書くとありますが、和語の自立性が弱いかどうかはどう判断するのでしょうか？

【A】

訓読みの漢字1字（和語）＋「する」の形をとる場合の多くは、「恋」「噂」「心」などの名詞に「する」が付いたものとして、「する」の前を切り離すことができます。例外はほぼ「与する・閲する・嘉する」の3語と考えてよいようで、これらはもっぱら「する」を付けた形で使われ、「与・閲・嘉」だけを単独で使うことはほとんどありません。切り離して単独で使うことがないことを、「自立性が弱い」と表現しています。

4 その他の注意すべき切れ続き

1. p81 2. 連濁

「我が子」の場合、「ワガ■コ」となりますが、その後ろに連濁の「びいき」がつく場合も、「ワガ■コビイキ」となるのでしょうか。意味のまとまりを考えると、「ワガコビイキ」とすべて続けたくなるのですが。

【A】

「ワガ■コビイキ」となります。後ろに連濁の語が続く場合もそうですが、接尾語や造語要素、2拍以下の自立性の弱い語が付く場合なども、そこだけを取り出すとなじまない言葉になる場合がありますが、多くは分かち書きの原則に従います。

ただ、短い語からなる慣用句や意味のまとまりが強い場合などは、すべて続けて書く場合もあります。「てびき」p82 3. の「ある時払い」「いいことずくめ」「その日ぐらし」などは、よく使われていて意味のまとまりが強い語と言えます。

「わが子びいき」「我が師頼り」「悪い子ぶる」などは、慣用的に使われている言葉ではないので、原則に従って区切って書くことになります。「ワガ■コビイキ」「ワガ■シダヨリ」「ワルイ■コブル」となります。

2. p81 2. 連濁

「読本」をドクホンと読む場合は、連濁と考えるのでしょうか。小学館の『日本国語大辞典』第二版には、「とく」は漢音、「どく」は呉音という説明があります。

「ジンセイ■トクホン」「ジンセイ■ドクホン」どちらでもいいと思いますが、いかがでしょうか。

【A】

「てびき」並びに点訳ナビゲーターでは、「読本」は「トクホン」が本来の読みであり、「ドクホン」の読みは、連濁という立場を取っています。『日本国語大辞典』には確かに、「とく」は漢音、「どく」は呉音と書かれていて、「補注」として語義説明の最後に、「《「読書」「読者」など呉音読みの「どく」が一般的になったため、「読本」も近年、「どくほん」とも読まれる》とあります。ここから、『日本国語大辞典』も本来の読みは「とくほん」であることを認めていることが分かります。現在、殆どの辞書が、「とくほん」の読みに語義を載せていますので、「ジンセイドクホン」は一続きに書くことをお勧めします。

3. p82 3. 慣用句

百人一首の一字札を表す「むすめふさほせ」の分かち書きを教えてください。

1. 覚え方の俗な意味「娘 房 干せ」とマスあけ
2. 一文字ずつ切る
3. 一続き

で迷っています。どのように書くのがよいのでしょうか。

【A】

文脈によって書き方に配慮が必要かと思いますが、基本的には、2. の「一文字ずつ区切る」ことになると思います。百人一首の札の最初の文字を並べただけですので、意味のある名詞や複合語にはなっていません。

「ム■ス■メ■フ■サ■ホ■セ」となります。

しかし、1度この7文字が紹介された後、「この7枚には覚えるコツがある」のように説明してあって、「娘 房 干せ」と書いてあったら

「ムスメ■フサ■ホセ」になります。

また、「この7文字を暗記するために〈むすめふさほせ、むすめふさほせ〉と呪文のように繰り返した」のような文であれば、

「ムスメフサホセ■ムスメフサホセ」となると思います。お経を唱える場合の点訳と同じような処理になります。

4. p83 5. 繰り返し言葉

そうそうあることではない

いくら好きでも、そうそう食べられまい

そうそういい顔もできない

上記3例は、「そう」1語でも意味が通じるので、「ソー■ソー」と区切って書くと考えて良いですか。

【A】

「繰り返し言葉」の規則は、今回の改訂で全く変更がありませんので、これまで通りの判断をしてください。

p83 5. を本則とし、【備考2】に続けて書く場合を示しています。「参考」もご覧ください。

そう■そう■あることではない

いくら好きでも、そう■そう■食べられまい

そう■そう■いい顔もできない

となります。

「新年早々、帰る早々、錚々たる顔ぶれ、早々に退散する」のように、繰り返すことによって新たな意味が生じる場合は続けて書きます。

5. p83 5. 繰り返し言葉

繰り返し言葉の「泣き泣き」ですが「泣く泣く」の意味で使われている時（例「泣き泣きあきらめる」）、続けてもいいのでしょうか。

【A】

「泣く泣く」と「泣き泣き」の用法を厳密に分けることはできないと思います。

「泣き泣き」は、「手を■振り■振り」「汗を■かき■かき」「春よ■来い■来い」などと同様、動詞の連用形や命令形などの単純な繰り返し言葉として、本則にしたがって区切って書いていますが、「泣く泣く」「見え見え」などは、一語として区切ると意味の理解を妨げると判断しています。

「繰り返し言葉」という分類は、品詞や意味・用法の分類ではなく、形の上での区別ですので、「泣き■泣き■諦める」「泣く泣く■諦める」となります。

6. p83 5. 繰り返し言葉

繰り返し言葉について、「Q & A」 Q61に「『そも・もし・ゆめ』のように、現在では単独では用いないような語も続けて書いてよいでしょう」とありますが、単独で用いるか用いないかの判断が難しいです。「どれどれ」「やれやれ」は該当しますか。

【A】

「そも」「もし」「ゆめ」は文語的表現で、小型の国語辞典には掲載されていないかったり、または「文語表現」と断りがついていますので、現在では単独ではまず用いないと考え、「そもそも」「もしもし」「ゆめゆめ」は続けて書いてよいとしました。

「どれ」は、ほとんどの国語辞典に単独で感動詞として掲載されていますので、「どれ」の強調表現として「ドレ■ドレ」と区切って書いてよいでしょう。「やれ」も、ほとんどの国語辞典に掲載されていますが、幅広い意味に使われていて、単なる強調表現ではないので、「ヤレヤレ■ホット■シタ」と「モット■ヤレ■ヤレ」のように使い分けています。

5 動植物名・理化学用語・医学用語・漢字や仮名で書かれた単位

1. p84 2. 理化学用語

点訳ナビゲーターの「硫酸塩泉（リユーサンエンセン）」「炭酸水素塩泉（タンサン■スイソエンセン）」は、「硫酸」「水素」も「塩泉」も辞書の見出し語に掲載がありますが、この書き方になるのでしょうか。

【A】

「硫酸塩」「炭酸水素塩」（重炭酸塩）を主成分としている温泉ですので、「リユーサンエンセン」「タンサン■スイソエンセン」となります。「塩泉」は塩類の含有量の多い鉱泉の総称ですので、それだけで自立性はありませんが、「硫酸塩」「炭酸水素塩」は、一つの物質名として「塩」を続けて書きますので、後ろの「泉」もそれに続けて書きます。

泉質には、以下のようなものがあるようです。

炭酸■水素塩泉 硫酸塩泉 塩化物泉 二酸化■炭素泉 含鉄泉
単純■温泉 酸性泉 含よう素泉 硫黄泉 放射能泉 炭酸鉄泉
重炭酸■土類泉 単純■炭酸泉

2. p84 2. 理化学用語

集英社インターナショナル新書『進化論の最前線』に、「デオキシリボ核酸」が出てきます。通常、一般書では、広辞苑の見出し語「デオキシ - リボ核酸」などを参考に、「デオキシ■リボカクサン」でよいのかと思うのですが、略語DNAと併

記されていることもあり、迷っています。

デオキシとリボ（リボース）の意味の結びつきが、リボと核酸より強いと判断して、「デオキシリボ■カクサン」とするか、あるいは前後に塩基配列などの詳解がありますので、専門書に準じて一続きに書くのが適当でしょうか。

【A】

「デオキシリボ核酸」は、「デオキシ」と「リボ（ース）」と「核酸」からなっている語のようです。専門書では、「点字理科記号解説暫定改訂版」p48を参照し、「デオキシ＝リボカクサン」（＝は第1つなぎ符）と書くのがよいと思います。

一般書では、「リボース」の「リボ」を自立可能な意味の成分と考えるかどうかで、切れ続きが異なってくると思いますが、専門用語ですので「リボ」だけを区切って書くのは、危ないような気がします。「リボ核酸」(RNA)は一続きに書いた方がいいのではないのでしょうか。「デオキシ」は「酸素（オキシ）が欠落（デ）している」という意味のようですので、「デオキシ」で区切って書いてよいと思います。「リボ核酸」(RNA)に対して「デオキシ■リボカクサン」(DNA)と書くのが意味を理解する助けにもなるように思われます。集英社インターナショナル新書『進化論の最前線』は一般書と考えるのが妥当なように思いますので、「デオキシ■リボカクサン」と書く方をお勧めします。

3. p85 3. 医学用語

「高病原性鳥インフルエンザ」「低病原性鳥インフルエンザ」「高感染性〇〇」「低感染性〇〇」等々、医学用語に「高」「低」が付く場合、「高血圧」「低血圧」「高脂血症」「低脂血症」と同じように続けて書いてよいのでしょうか。

【A】

医学用語については、一般の語より2拍で自立性があると判断することも多い（右、脳、心、肺などなど）のですが、「高・低」に関しては、医学用語と一般の語の違いは無いと思います。「高・低」とも後ろの語と続けて書くことが原則です。後ろにマスあけを含む複合語が来る場合は「高・低」の後ろを一マスあけます。

高■塩分■濃度 高■付加■価値 高■物価■水準 低■出生■体重児
高■中性■脂肪血症

などです。

「高病原性鳥インフルエンザ」も「低病原性鳥インフルエンザ」も、「コービョーゲンセイ」「テイビョーゲンセイ」と続けて書いてよいと思います。

その3 固有名詞

1 人名

1. p87 1. 名字と名前

リホーはなぜ区切る？

【A】

本則で、「人名の名字と名前の間は区切って書く」と言い切っています。続けるのは、中国・朝鮮の人名のうち、ごくごく限られた、短くて特になじみ深いと誰もが思うような人名に限っています。ですので、ここに挙げられた用例からあまり広がっていくことを考えていません。

「リ■ホー」は本則に従って区切って書きます。このほか、「李軌（リ■キ）」「馬良（バ■リョー）」などの短い人名も名字と名前の間で区切って書きます。

2. p88 1. 名字と名前 【処理1】

レオナルド・ダ＝ヴィンチが、本則では「＝」もマスあけになりました。【処理1】で、原文に「＝」などが用いられていることを特に書き表す必要がある場合には、つなぎ符を用いると記載されています。ここに述べられている「特に書き表す必要がある場合」とは、具体的には、どのような場合と考えたらいいでしょうか。

例えば、次のような人物が原本に出てきました。フランスの社会人類学者 クロード・レヴィ＝ストロース、テニス選手 フェリックス・オジェ＝アリアシム、オジェは母の姓、アリアシムは父の姓からとっているそうです。

このように、由来をもつものが＝で繋がっている場合は、「てびき」で言うところの「特に書き表す必要がある場合」に相当するのでしょうか。判断基準のヒントを教えてください。

【A】

「レオナルド・ダ＝ヴィンチ」の書き方が4版で変更になったわけではありません。これまでも、レオナルド■ダ■ヴィンチと本則に従って書くのが原則だったのですが、【処理】の第1つなぎ符を使う例だけが載っていたので、その用法だけが強調されているという心配の声が上がり、4版では、本則にも例として掲載しました。

ですから、クロード・レヴィ＝ストロース、フェリックス・オジェ＝アリアシムなども、中点、ダブルハイフンのところをマスあけして書きます。

【処理】を適用する例としては、例えば

.....

外国人名の表記にダブルハイフンが使われている場合があります。たとえば、クロード・レヴィ＝ストロース、フェリックス・オジェ＝アリアシムなどですが、これらは、姓の中に用い、母の姓と父の姓を示したり、氏族を表したりしています。

姓の中だけでなく、ジャン＝ジャック・ルソーのように、ファーストネームの中に用いられている場合もあります。

.....

このような原文の場合、文脈上、ダブルハイフンの位置を示す必要があります。点訳挿入符で「ダブルハイフンを点訳では第1つなぎ符で表した」と断って、「クロード■レヴィ＝ストロース、フェリックス■オジェ＝アリアシム、ジャン＝ジャック■ルソー」と点訳することになると思います。

このように、ダブルハイフンの位置を特に示す必要が無い限り、本則に従ってマスあけて点訳します。

「オジェは母の姓、アリアシムは父の姓からとっているそうです。」と由来だけが書かれている場合は、ダブルハイフンの位置や記号は特に問題になりませんのでマスあけていいと思います。

3. p90 3. 「さん」「様」「君」「殿」「氏（し）」「氏（うじ）」【備考1】

普通名詞の後ろに「様」が続く場合に続けて書く【備考1】の用例に、「和宮様」がありますが、「和宮様」は固有名詞ではないのでしょうか？

【A】

全体としては固有名詞ですが、「宮」が普通名詞で、その直後に「様」が続くことから続けて書きます。同様に「千姫様」も続けて書きます。固有名詞は、内部に固有の成分と普通名詞成分を持つ場合がありますので注意してください。

4. p90 3. 「さん」「様」「君」「殿」「氏（し）」「氏（うじ）」【備考2】

時代小説等で、町人や民衆が「徳川様の時代」とか、「水戸様」などと様付けで呼んでいます。が、「様」は区切ってよいのでしょうか。

《A》

「てびき」p90【備考2】にありますように、一族を表す場合に続けるのは、「氏」が付くものだけですので、「トクガワ■サマ」「ミト■サマ」と区切って書きます。

5. p90 3. 「さん」「様」「君」「殿」「氏」「氏（し・うじ）」【処理1】

原則として、「てびき」にあるもののほか、ハンドルネーム、タレント名、芸名、源氏名、キャラクター名、ゆるキャラ名、マスコット名などは区切って書き、あだ名、ニックネームなどは続けて書くようにしていますが、最近は変わった命名も多く、悩むことが多いです。

ニックネームなども、別名・通称として、名前を浮き立たせるために区切って書いてよい場合があるのか、普通名詞であっても固有名詞として使われている場合はどうか、物語の中での著者の命名の仕方にもよるのか、等々。

・本名「新屋（しんや）」で「新ちゃん」と呼ばれている人物が、新人に「新ちゃんさん」と呼ばれた場合は？

・随筆の中で「ヒマラヤ山系」「山系」「山系くん」「山系様」としか呼ばれない登場人物は？（実際のモデルの本名は「平山三郎」）

・有象くん、無象くんという登場人物は？（その他に登場するのは、温厚教授、八年さん〈8年留年している〉、小悪魔ちゃんなど）

本によるかもしれませんが、迷うとき、原則と違う判断もあっていいのか、考え方をアドバイスしていただけるとありがたいです。

なお、「親称」という語は、親しみを込めた名称という意味で使われているかと思いますが、辞典にこの意味はないようです。一部の言語で、敬称二人称・親称二人称のように二人称代名詞に用いられる語であるため、「表記法」2018年版では省かれたのでしょうか。

【A】

「さん」は接尾語ですので、特別な理由がない限り前に続けて書くことを基本としています。

この場合、人名を浮きだたせるのが目的ですから、その目的が曖昧な場合は「さん、様、君、殿、氏、氏」は続けて書くことが優先されると思います。

・シンチャンサン（「サカナクン■サン」は、「サカナクン」でタレント名と考えて、区切った）

・サンケイクン、サンケイサン

・ウゾークン、ムゾークン（有象、無象が本名であれば区切って書く）

・数8ネンサン、コアクマチャン

「親称」については、広く使われている用法ではないため、「表記法」では2018年版からその言葉を削除しています。

しかし、「てびき」では、独自の造語ですが、2版から用いられている言葉ですので、用語解説p249で説明を加えた上で、これまで通りに用いています。

2 地名

1. p92 1. 地名 【処理3】

外国地名「オックスフォード」は、語源を調べると「雄牛(オックス)が渡ることのできる浅瀬(フォード)の意」とありますが、続けて書いた方がよいのでしょうか。

【A】

外国地名中に、「タウン(町)」「ランド(土地)」「セント(聖)」など、3拍以上で

意味の分かりやすい成分を含む地名は、複合する相手の成分の拍数や自立性に問題がなければ区切って書くのが分かりやすいと思います。

また日本人になじみのある語ではなくても、「クアラ■ルンプール」「ウラン■バートル」など英語表記で綴りが区切られ、KL、UBのように略されたり、カタカナで書くとき中点入りの表記も見られるような地名は、読みやすさも考えて、長く一続きにするよりも、区切ることをお勧めしています。

「オックスフォード」の場合、現在の地名としては「浅瀬・渡場」の意味合いが「タウン」や「ランド」のように明確・具体的でなく、語源を意識せずにひとまとまりの感覚で捉えられることが多いようです。綴りも一続きで、中点入りの書き方をすることはありませんし、極端に長いわけでもありませんので、どちらかといえ一続きに書いた方がよいでしょう。

2. p92 1. 地名 【処理3】「コラム21」

外国地名の切れ続きについて

(1) サン・ジェルマン・デ・プレ

(2) ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア

(1)「デプレ」、(2)「デ■グラン」となるのは、「デ」に続く単語が2拍か3拍かの違いと考えてよいでしょうか。

【A】

そうではありません。

外国地名は、「コラム21」の最初にお断りしているように、p92【処理3】に従って書きます。ですから「リオ・デ・ジャネイロ」は「デ」の後ろに4拍「ジャネイロ」がありますが、3拍以上の意味のまとまりが二つ以上ないので「リオデジャネイロ」と続けて書きます。

「コラム21」では、3段落目の「しかし～」以降に書いてある条件の場合に限って、やむを得ず、原音の区切り目やカタカナで書いたときに中点のあるところで、区切って書く方法を示しています。これは、「間に前置詞や冠詞が続き、後ろの語に続けると非常に長くなる場合や、地名の意味のまとまりの判断ができない場合」にやむを得ず採る方法を示しているのであって、安易にこの方法を採用することをお勧めしているわけではありません。

そして、「サン・ジェルマン・デ・プレ」は、意味のまとまりが判断できますので、「サンジェルマン■デプレ」と書きます。「ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア」は、意味のまとまりの判断が難しく、長くなるので、中点のあるところで機械的に区切り「ラス■パルマス■デ■グラン■カナリア」としています。

3. p92 1. 地名 【処理3】「コラム21」

「コラム」に、スペイン語の「サン・クリストバル」は「サンクリストバル」と一続きになる用例があります。恐らくガラパゴス諸島の「サンクリストバル島」の例だと思いますが、メキシコにもよく似た名前の「サン・クリストバル・デ・ラス・カサス」という都市があります。後半の「デ・ラス・カサス」は人名（司祭名）由来のようです。用例にあるスペイン語の「ラス■パルマス■デ■グラン■カナリア」に倣って、「サンクリストバル■デ■ラス■カサス」となりますか。

また、一般になじみがなく長い外国地名は、原綴りを調べることはできても原音の区切り目を調べることは難しいことが多いようです。この場合、原綴りをもとに切れ続きを判断してもよいでしょうか。

【A】

外国地名の切れ続きの規則は、p92【処理3】ですので、3拍以上の意味のまとまりが二つ以上あればその境目で区切って書き、2拍以下の意味のまとまりはそのどちらかに続けて書きます。「サン・クリストバル・デ・ラス・カサス」は、非常に長いわけでも、意味のまとまりが判断できないわけでもありませんので、規則に従って「サンクリストバル■デラスカサス」でよいと思います。

規則と「コラム21」の書き方を混同してしまうと、混乱しますので、まずは、規則に従って書くことを考えてください。

そして、「コラム」に書いてあるような理由で、規則に従って書くことができない場合に、原音の区切り目か、カタカナで書いたときに中点のあるところで区切って書くようにしてください。

4. p92 1. 地名 【処理3】「コラム21」

外国地名は、「てびき」3版から「2拍以下の意味のまとまりはそのどちらかに続けて書く」という、例外を認めない規則が加わりました。4版で、なじみのない外国地名の場合は、やむをえず中点のあるところで区切って書いてよいと例外が認められました。ただ、どう処理すべきか悩む地名は今後も出てくると思います。3版の規則が作られた理由や、外国地名の切れ続きの規則が作られた経緯について理解できれば、中点にとらわれすぎることなく、より適切に判断できるのではないかと思います。

なお、「コラム」の中の例ですが、調べて分ければ、「ヴァイン（＝ワイン）■シュトラッセ（ストリート）」として構わないですか？

【A】

外国地名は、2版までは一続きに書くことになっていましたので、「サウジアラビア、オスマントルコ」などもすべて一続きでした。

「てびき3版」編集に当たって、「外国地名には長いものが多いので3拍以上の意味のまとまりが二つ以上あれば区切って書いてよい」というルールを提案し、賛成

が得られたので「てびき」では外国地名のルールを設けたのですが、「表記法」では議論がそこまでいきませんでしたので、「表記法2001年版」には外国地名のルールはなく、日本の地名も外国地名も同じルールで扱われています。「一つの段階の内部に自立可能な意味の成分が二つ以上あればその境目で区切り、2拍以下の副次的な意味の成分はそのどちらかに続けて書き表すことを原則とする」となっています。3版の編集委員会でも「サンフランシスコ、リオデジャネイロ、ニュージーランド」まで区切ることは考えていませんでした。

4版の編集に当たっても、この部分は同じ判断です。「サンフランシスコ、ニュージーランド」などは一続きに書きたいと思います。

ですが、世界の地名には、これだけで一律に判断することが難しいものも多いので、「コラム21」という形で踏み込んだ判断をしました。

ですから、外国地名を書く場合は、まずは、【処理3】に従って切れ続きを判断し、それができない場合は、「コラム21」の書き方で書いてください。

「ノイシュタット・アン・デア・ヴァインシュトラッセ」の「ヴァインシュトラッセ」は、カタカナで書いても中点を入れて書かれていませんし、原語でも一続きに書かれていますので、「コラム21」の書き方で書く場合には、一続きに書きます。

5. p93 2. 自然名 【備考】

「鳶の湯、鳥の湯、熊の湯、谷の湯、熱の湯、上熱の湯(かみねつのゆ)、田中の湯」など、「～の湯」が付く場合、発音上の切れ目がなければ続けてもよいのでしょうか。

また、「鳶の湯温泉、鳥の湯温泉、熊の湯温泉、谷の湯温泉、熱の湯温泉、上熱の湯温泉、田中の湯温泉」というように後ろに温泉が付く場合はいかがでしょうか。

【A】

「～の湯」は、この【備考】の規則で考え、意味のまとまりがあるかどうかについては、「てびきQ&A」のQ80も参考になります。ここから考えると「ツタノユ、トリノユ、クマノユ、タニノユ、ネツノユ」と続けて書いてよいと思います。また、「田中の湯」は「田中」が3拍ですので、「タナカノ■ユ」になると思います。「上熱の湯」は「カミ■ネツノユ」と区切った方がよいと思います。

それに温泉が付いた場合は、「ツタノユ■オンセン」「タナカノ■ユ■オンセン」のように、「オンセン」の前でマスあけします。後ろに「オンセン」が付くことによって、前の部分のマスあけが変わることはありません。

6. p94 3. 地名・自然名に続く言葉 【処理】

地名や自然名の普通名詞部分の外来語が2拍以上であれば区切って書くとあります。アルプスの「モンブラン (Mont Blanc)」の場合、山を表すフランス語の「モン

(Mont)」が2拍なので、「モン■ブラン」と区切るのでしょうか。それとも、用例にあるような英語由来の「シティ」「ベイ」と違い、フランス語の「モン」は日本語として定着していない（自立していない）、あるいは一般的に広く「モンブラン」と一続きの読みで定着していると考え「モンブラン」と続けるのでしょうか。

関連して、自然名ではありませんが、点ナビにある建造物名「モンサンミッシェル (Mont Saint-Michel)」 「モン■サン■ミッシェル」についても説明していただけますか。

【A】

この処理は、用例にあるようなごく一般的な普通名詞で、日本語としてなじみの深い外来語を想定しています。フランス語やイタリア語などの原語まで遡って考えるではありません。「モンブラン」は一続きに書きます。

「モン■サン■ミッシェル」は建造物名ですので、「その他の固有名詞」に入ります。「Mont Saint-Michel」は、「山」と大天使「サン■ミッシェル」から成っていますので、それぞれに区切って書くと思います。

3 その他の固有名詞

1. p95 1. その他の固有名詞

用例で「サッポロ一番」は、数1バンとなっています。固有名詞ですが数字で書く理由をお尋ねします。

【A】

商品名の由来を見ても、「一番初めに開発され、一番おいしい」など「一番」という数的な順番の意味合いが強いですし、分かりやすいと思いますので、商品名であっても、数符を使って表した方がよいと判断しました。

2. p95 1. その他の固有名詞

用例の「ストーンヘンジ」は、「ストーン」と「ヘンジ」の拍数や意味のまとまりからいって、区切ることはできないのでしょうか。

【A】

ストーンヘンジ (Stonehenge) は、語源から見ると「ストーン」と「ヘンジ」には分けにくい言葉のようです。英語に「ヘンジ」という語はありますが、これは「ストーンヘンジ」から逆成された語で、「土塁、周溝」を指し、「ストーンヘンジ」の「ヘンジ」は、古英語の「張り出したもの」という意味で、もともとはスペルも異なります。ですから「ストーンヘンジ」は一続きに書きます。

3. p95 1. その他の固有名詞

オックスフォード大学とケンブリッジ大学を合わせた呼称、オックスブリッジは一続きに書いてよいでしょうか？

【A】

確かに迷いますが、イギリスのオックスフォード・ケンブリッジ両大学の併称のようですので、オックス■ブリッジと区切って書いた方がよいと思います。オックスフォード生地のことを略してオックス生地ともいい、オックスはオックスフォードを略した語として自立性があると考えていいと思います。このことから、区切って書いた方が分かりやすいと思います。

4. p95 1. その他の固有名詞

「プレクストーク PLEXTALK」は、商標名なので、一続きに書くのでしょうか？

「パワーポイント PowerPoint」や「メディアプレイヤー MediaPlayer」など、パソコン関係のソフト名の切れ続きはどうなりますか。

【A】

商品名ですので、p94の本則にあるように、この場合は複合名詞の切れ続きの規則に従って書きます。

プレクストーク（3拍以上の意味のまとまりが二つ以上ないので一続き）

パワー■ポイント

メディア■プレイヤー

となります。

5. p95 1. その他の固有名詞

会社や芸能事務所を表すプロダクション名のマスあけ、プロダクションを略してプロとなった場合のマスあけをお尋ねします。

勝プロダクション 勝プロ

虫プロダクション 虫プロ

ホリプロダクション ホリプロ

【A】

「勝」「虫」「ホリ」は、この場合、固有名詞の固有の部分になります。「固有名詞」の項の前文(p87)にありますように、「勝プロダクション」「虫プロダクション」

「ホリプロダクション」は、全体として固有名詞ですが、固有の部分と「プロダクション」という普通名詞の部分から成り立っています。そのうちの固有の部分は拍数にかかわらず、自立した意味の成分（区切る成分）になります。

カツ■プロダクション

ムシ■プロダクション

ホリ■プロダクション
となります。

「プロ」は2拍ですが、外来語の略語は「アナ」なども前に固有名詞が付いても区切って書きますので、「カツ■プロ」「ムシ■プロ」「ホリ■プロ」と書いてよいと思います。

6. p95 1. その他の固有名詞

「ラ・サール高校」は、ラ・サールの部分が人名由来なので、「シャルル・ド・ゴール空港」のように、「ラ■サール■コーコー」と書くのか、「モナリザ」のように一般的に続けて発音しているので「ラサール■コーコー」と続けて書くのか、どちらがよいのでしょうか。

【A】

「ジャン・パディスト・ド・ラ・サール」という名前の一部をとって学園名にしてありますので、「ラ■サール■コーコー」と書くのがよいと思います。

7. p95 1. その他の固有名詞

「ミキハウス」「タマホーム」「ドンキホーテ」「セガ・サミー」などの会社名は、どのように分かち書きを判断したらよいのでしょうか。

【A】

「ミキハウス」「タマホーム」は2拍プラス3拍の語ですが、「ミキ」「タマ」が固有名詞の固有の部分で、「ハウス」「ホーム」が普通名詞の部分になります。固有名詞の固有の部分は1拍でも自立可能な成分であり、普通名詞の部分が3拍以上ですので、「ミキ■ハウス」「タマ■ホーム」と区切って書きます。「ミキハウス」は、三起商行株式会社の「三起」を取ったブランド名。「タマホーム」は、創業者の名字「玉木」から取ったもので、「タマホーム」のほか、「タマファイナンス」「タマアパレル」「タマリビング」などの関連会社があるようです。

「セガ・サミー」は、セガとサミーという二つの会社が統合してできたグループ会社です。一体化して「セガサミー」とも表示されているようですが、現在はもとの固有名詞がはっきりしているので、「セガ■サミー」と区切って書いた方がよいのではないのでしょうか。カタカナで表記する会社で、合併して、もとの会社名が並べであるものとして、「タカラ■トミー」「マルハ■ニチロ」「バンダイ■ナムコ」などがあるようです。

「ドンキホーテ」は、セルバンテスの名作「ドン・キホーテ」に由来しているので、「ドン■キホーテ」でよいと思います。

8. p95 1. その他の固有名詞

建造物名などは複合名詞や人名・地名などの固有名詞の切れ続きの規則に従って書くことが原則とありますが、「アブ・シンベル宮殿」「サン・マルコス大学」は、「アブシンベル」「サンマルコス」を続けて書きますか。

【A】

「サン・マルコス大学」は、外来語の場合2拍でも相手が4拍以上であれば区切って書きますので、「サン■マルコス■ダイガク」となると思います。

「アブ・シンベル宮殿」は、「アブ・シンベル」にある宮殿のようです。「アブ・シンベル」は地名ですので、p92【処理3】の外国地名の書き方に従って、「アブシンベル」と続けた方がよいと思います。ですから「アブシンベル■キューデン」となります。

9. p92～95 2 地名、3 その他の固有名詞

固有名詞中の冠詞や前置詞はどのように考えたらよいでしょうか。レストランや通りの名称に使われる中点は、単に一マスあけにするという考えではいけませんか？

(店舗名) ラ・リュムリ ラ・ジュワ・ド・リル

(駅名) サン・ジェルマン駅

(通り名) ディエゴ・フェレ通り (Diego Ferre)

ホセ・パルド大通り (Av. Jos'e Pardo)

(島名) エル・フロント島 (El Flont'on)

【A】

建造物名や店舗名などは、複合名詞と同じように考えます。これらは外国語をカタカナ書きしたものとして、外国語での区切り目を意味のまとまりとみなしてよいと思います。

店舗名「ラ■リュムリ」「ラ■ジュワ■ド■リル」

駅名「サン■ジェルマンエキ」

通り名「ディエゴ■フェレドオリ」「ホセ■パルド■オオドオリ」

外国の地名・自然名は、3拍で区切るのが原則ですので、「エルフロントトー」と書くことになります。

10. p92～p95 2. 地名、3. その他の固有名詞

以下の2拍の語は区切りますか？

リッツ・オーフスシティ (デンマーク・オーフスのホテル)

キャナルシティ (福岡の商業施設)

久留米シティプラザ

アミュプラザ (JRの商業施設)

シアヌークビル (カンボジア。ビルは仏語で街。)

コンボンソム (カンボジア)

シャーロットビル (アメリカ。ビルは仏語で街。)

ジョホールバル (マレーシア)

スリジャヤワルダナプラコッテ (スリランカ。スリは聖なる、ジャヤワルダナは人名、 プラは街、コッテは元の街の名)

ウェーブヒル牧場 (オーストラリア)

ブロードウェイ (アメリカ。ブロードは広い、ウェイは道。)

【A】

p94【処理】は、地名や自然名の普通名詞部分が外来語で表されている場合を述べています。また、p94「3 その他の固有名詞」には団体名・建造物名について述べています。ご質問に挙げられている語は、種々の固有名詞を含んでいますので、それぞれに合わせて判断することになります。

挙げられている語のうち、「シアヌークビル、コンボンソム、シャーロットビル、ジョホールバル、スリジャヤワルダナプラコッテ」は地名ですので、p92【処理3】に従って、3拍以上の意味のまとまりが二つ以上あれば区切って書き、2拍以下の意味のまとまりは続けて書きます。これらは、語のすべてが固有名詞部分で、「シティ」などの普通名詞が付いているわけではありません。

シアヌークビル (カンボジア 地名)

コンボンソム (カンボジア 地名)

シャーロットビル (アメリカ 地名)

ジョホールバル (マレーシア 地名)

以上は一続きに書きます。

スリジャヤワルダナプラコッテは、「スリジャヤワルダナプラコッテ」と一続きに書くのが原則ですが、16マスも続き、長すぎて読みにくいので、中点の入る位置「スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ」に従って、「スリ■ジャヤワルダナプラ■コッテ」と書くこともできると思います。

残りは、ホテル名や商業施設、牧場名など「その他の固有名詞」に当てはまりませんので、それぞれのルールに基づいて考えます。

リッツ■オーフス■シティ (デンマーク・オーフス市にあるホテル)

キャナルシティ■博多 (福岡の商業施設、5拍なので一続き)

久留米■シティプラザ (久留米市総合文化施設)

アミュプラザ (J R九州系列のファッションビル)

ウェーブヒル■牧場 (オーストラリア ノーザンテリトリーにある牧場)

「ブロードウェイ」については、「ブロードウェイ」で通りの名称、地名になっているので、一続きに書いてよいと思います。